

住まいの屋根換気通気研究会 特別セミナー

気密は省エネ・耐久性に関わる要素 米の専門家が必要性説く

(一社)住まいの屋根換気通気研究会(理事長=神戸睦史・㈱ハウゼン社長)は5月19日、特別セミナー「日米比較」を開催した。米E.I.デュポン社リサーチフェローのウエストン・テレサ氏が来日し、アメリカの住宅・建築関連基準を紹介しつつ気密や防湿の重要性について講演した。また、同協会理事の石川廣三・東海大学名誉教授、(有)松尾設計室の松尾和也氏、岩前篤・近畿大学教授の3人による講演や、講師陣によるトークセッションも行われた。

テレサ氏は、サステナブルな建築物に必要な要素として、耐久性とエネルギー効率性の2つを提示した。この州で気密測定の実施が義務化され、建築規格が異なるものの、戸建住宅の省エネ性能に関する基準では、2012年以降ほとんど

一方、耐久性についてテレサ氏は、温潤状態を減らし、最大限に乾燥させる「水分のバランス」が重要だと主張。"Deflection" (雨仕舞い)、"Drainage" (排水)、"Drying" (乾燥)、"Durability" (耐久性)の「4つのD」を紹介しつつ、躯体への直接的な水の浸入を防ぐことが最も重要だと話した。

したうえで、どちらの要素にも関わるのが気密性だと説明。アメリカ各地の気候条件下では、外皮の気密性向上による省エネ効果は最大で42%に達するとのデータを紹介した。アメリカでは州により建築法規や基準が異なるものの、戸建住宅の省エネ性能は州によるトータルによるデータを紹介した。

恐れもあるため、特に中間的な気候区分の地域では、「ベーパーバリアの有無を判断するのは難しい」と述べた。アメリカでは実際に、ベーパーバリアの設置を禁止した

講演で取り上げた。岩前教授は、「水蒸気以外の空気」を対象に、熱損失の低減などを目的とする気密に対し、防湿は「水蒸気」が対象で、結露を防止するためのものだと定義。結露が躯体等の劣化につつも、人の価値観によって劣化が判断される限りは現状が続くと主張。「気密や防湿のガイドライン」の必要性を訴えた。



テレサ氏



NPO法人木の建築フォーラム(安藤邦廣理事長)は5月28日、第16回通常総会と併せて第12回木の建築賞表彰式を執り行い、また第23回公開フォーラムを開催した。木の建築賞は、辺見美津男さん(有限会社「112年前の政府指定の米蔵をリノベーションした蔵『作樂』」)が、木の建築大賞およびメンバーズチョイス賞として、次世代へつなぐ」が、木の大賞を同時に受賞。その他10作品・活動が入賞した。

安藤理事長は、木造建築が認知され始めた一方、大災害による被災など

5年に建てられた米蔵をリノベーションした白河市にある、190

年(木)。毎年公開で書類の受付期間は、7月1日~8月17日(木)、第4回通常総会を

開催。普及版のログハウス「木のいえ」を、12月の竣工を目指す、2階は建築設計事務所として、次世代へつなぐ」は、福島県

は、近畿・中部地区を対象に開催する。応募書類の受付期間は、7月1日~8月17日(木)、第4回通常総会を

開催。普及版のログハウス「木のいえ」は、木造先導実験棟建設プロジェクトを、12月の竣工を目指して推進していく。

二木代表理事は挨拶で、"木のいえ"を「暮らしを楽しむ一番の方

法」と位置づけ、「木のいえ」を「暮らしを楽しむ一番の方

のいえの楽しさ、暮らしを楽しむ一番の方

のいえの楽しさ、暮らしを楽しむ一番の方

のいえの楽しさ、暮らしを楽しむ一番の方

のいえの楽しさ、暮らしを楽しむ一番の方

のいえの楽しさ、暮らしを楽しむ一番の方

のいえの楽しさ、暮らしを楽しむ一番の方

のいえの楽しさ、暮らしを楽しむ一番の方

式を執り行い、また第23回公開フォーラムを開催した。木の建築賞は、辺見美津男さん(有限会社「112年前の政府指定の米蔵をリノベーションした蔵『作樂』」)

は、辺見美津男さん(有限会社「112年前の政府指定の米蔵をリノベーションした蔵『作樂』」)

は、北海道・東北・新潟地区を対象に実施。大賞とメンバーズチョイス賞のダブル受賞となつた「112年前の政府指定の米蔵をリノベーションした蔵『作樂』」

は、東日本大震災により、内部のなまこ壁が被害を受けたが、下地の竹木を入れ直し、割れた素焼き瓦を継ぎ合させて修復。辺見さんは「持ち主が変わつても建物が生き続けることが建築の持つ力。

50年、100年後も輝き続けることを願った」と話した。

（一社）木のいえ番振興協会（二木浩三代表理事）は5月30日、第4回通常総会を

開催。普及版のログハウス「木のいえ」は、木造先導実験棟建設プロジェクトを、12月の竣工を目指して推進していく。

二木代表理事は挨拶で、"木のいえ"を「暮らしを楽しむ一番の方

法」と位置づけ、「木のいえ」を「暮らしを楽しむ一番の方

のいえの楽しさ、暮らしを楽しむ一番の方

のいえの楽しさ、暮らしを楽しむ一番の方

のいえの楽しさ、暮らしを楽しむ一番の方

のいえの楽しさ、暮らしを楽しむ一番の方

のいえの楽しさ、暮らしを楽しむ一番の方

のいえの楽しさ、暮らしを楽しむ一番の方

のいえの楽しさ、暮らしを楽しむ一番の方

第12回木の建築賞

築112年の米蔵 メンバーズチョイス賞とダブル受賞

は、辺見美津男さん(有限会社「112年前の政府指定の米蔵をリノベーションした蔵『作樂』」)

は、北海道・東北・新潟地区を対象に実施。大賞とメンバーズチョイス賞のダブル受賞となつた「112年前の政府指定の米蔵をリノベーションした蔵『作樂』」

は、東日本大震災により、内部のなまこ壁が被害を受けたが、下地の竹木を入れ直し、割れた素焼き瓦を継ぎ合させて修復。辺見さんは「持ち主が変わつても建物が生き続けることが建築の持つ力。

50年、100年後も輝き続けることを願った」と話した。

（一社）木のいえ番振興協会（二木浩三代表理事）は5月30日、第4回通常総会を

開催。普及版のログハウス「木のいえ」は、木造先導実験棟建設プロジェクトを、12月の竣工を目指して推進していく。

二木代表理事は挨拶で、"木のいえ"を「暮らしを楽しむ一番の方

法」と位置づけ、「木のいえ」を「暮らしを楽しむ一番の方

のいえの楽しさ、暮らしを楽しむ一番の方

のいえの楽しさ、暮らしを楽しむ一番の方

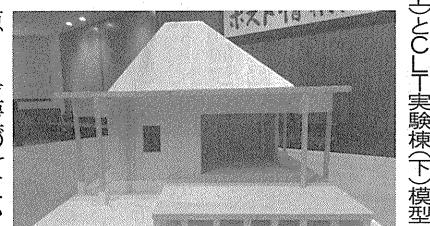
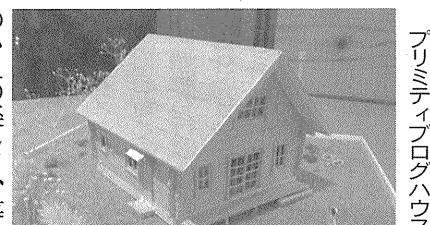
のいえの楽しさ、暮らしを楽しむ一番の方

のいえの楽しさ、暮らしを楽しむ一番の方

のいえの楽しさ、暮らしを楽しむ一番の方

E-Bサイト (<http://kinokenchikusyou.com/>) を参照。

プリミティブログハウス(上)と実験棟(下)模型



おかげさまで
累計来場者数
185万人突破!

入場無料

地震に強い家づくり

2017年6月24日(土)~25日(日)

ポートメッセなごや 第2・第3展示館

Nice
ナイズ
すてきナイズグループ
www.nice.co.jp

住まいの耐震博覧会

10:00~17:00 10:00~16:00

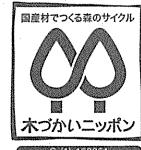
入場無料

同時
開催

林野庁
後援

木と住まいの
大博覧会

全国各地から揃えた木材の祭典。
国産木材の魅力から、木が与える暮らしの
メリットなどを知ることができます。
ぜひこの機会に会場へお越しください。



名古屋開催の詳しい情報は

名古屋耐震博覧会

検索

<https://www.758taishin.com>